

放送日 令和2年2月3日（月）

担当者 契約課 木川 直也

おはようございます。契約課の木川です。

私事ですが、先日春の高校野球選抜甲子園出場校が発表され、私の母校である白樺学園の出場が決定いたしました。後輩たちが春の甲子園で活躍してくれるのを今から楽しみにしています。野球に限らず部活動や勉強、アルバイトなど何か自分の好きなことに熱中し、ひたすら打ち込むことができるのは学生の特権であり、学生時代にしかできない貴重な経験だと思います。

皆さんは今でも何か時間を忘れるくらい熱中できることはありますか。

学生時代は熱中していたものがあつたが、今は特に熱中するものがなく、なんとなく毎日を過ごしているという方もいるでしょう。

何かに熱中している時間は、なんとなく過ごす時間や嫌なことをしている時間と比べ、時間の経過が早く感じるかと思います。

実際に心理学の世界でも、検証されており、心拍数等の関係から、楽しい時間や何かに没頭している時間は、体内時計の進むスピードが、退屈な時間を過ごしている時よりも早く進んでいるため、実際に時間が早く感じるという研究結果が出ているとのことです。

趣味を楽しんでいる方や、毎日有意義に過ごしている方は、常に体内時計が早く進んでいるせいか、年齢を重ねてもとても若々しく見えます。

多趣味で有名な芸能人の所ジョージさんは、65歳でありながら、とても若々しく生き生きしているように見えます。

実際にみなさんの周りにも、いつも若々しく年齢を感じさせない方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

年齢を重ねるごとに、何かに打ち込んだり、熱中したりする機会は少なくなりがちです、また、若いころと比べ、新しいことに挑戦するにはエネルギーが必要になるかと思います、しかし、私自身も限られた時間の中で少しでも熱中できることを探し、いくつになっても新しいことに挑戦できる人間でありたいと思っています。

最後に少しだけ業務についてお話をさせていただきたいと思います。

令和元年度も残りわずかになり、各課の方で新年度へ向けた新たな契約事務の準備を進めていることかと思えます。

金額やそれぞれの内容に応じて契約事務の手順や、準備にかかる期間等が変わってきますので、年度前の取扱等を参考にし、適切に処理していただくようお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月4日（火）

**担当者** 会計課 松本 政樹

おはようございます。会計課主査の松本政樹です。

今年度、会計課に配属され1年が経とうとしています。

そこで、市長の支出命令に対し、独立した審査権限が与えられている会計管理者を、補助しております会計課の業務の一部をご紹介します。会計課は歳入班と歳出班に分かれており、私の担当する業務は、歳出の2次審査と歳入歳出外を含めた出納管理全般となっております。

8時45分頃に銀行の派出所の方が出勤され、前日までに銀行が収納した集計表と納付書を歳入班に手渡します。歳入班は、受け取った納付書を歳入予算のどこの款に入れるか仕分けを行い、実際の金額と合わせていきます。10時頃になると、銀行の支店から当日入金FAXが届きます。入金されたFAXは、担当部署から事前に提出された納付書と合わせて派出所職員に手渡し、当日の入金にします。ほかに、ゆうちょ銀行からも納付書が送付され、銀行と同様の処理を行い、全てを合算して、その日の歳入を確定しています。

これら業務は財務会計システムのおかげで集計結果に間違いはまずありませんが、人が行う作業では、実際に入ってきた金額と集計が合わないとか、歳入の入金先を間違えることもあります。ほかに、振込先の入力間違いや相手先の事情による振込エラーの対応などもあります。

そのような問題が発生したときは、スタッフ間や他部署との連携によって問題を解決していきます。しかし、解決には時間を要することもあります。公務員は仕事ができ当たり前と言われていています。市民の信用を損なわないよう気を配り、日々業務に取り組んでおります。

最後に、今週から市のポータルサイトがバージョンアップされました。会計課は歳入管理と歳出管理、そして出納管理のシステムを担当しています。入力画面など一部変更になっています。使用していてご不明な点などがありましたら、内線2402までご連絡ください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月5日（水）  
**担当者** 議会事務局 金田 周

おはようございます。議会事務局の金田周です。私事ですが、昨年9月、トライアスロンに参加しました。私がエントリーしたクラスは1.5キロ泳ぎ、42キロ自転車に乗り、最後に10キロランニングをするというもので、大会4か月前に、お誘いをうけて、とりあえず申し込んでしまえということで参加することを決めました。しかし、まったく泳げなかったのもので、そこからスイミングスクールに通い始め、今さら自分が水泳を習うなんて思いもしませんでした。初めは周りからは本当に大丈夫なの？と心配の声がありましたが、自分自身もどうなるか分からなかったんですが、一緒に同じ目標に向かっているメンバーもいたせいか、なんとかなるだろうという気持ちで必死に練習しました。結果的に大会当日は時間は多くかかりましたが、無事ゴールすることができました。長くなりましたが、仕事においても、何をするにでも、何か新しいことをする際は必ずいい意味で心配されたり、時にはできないんじゃない？など厳しいお言葉をいただくときもあるかと思います。そうするとおのずと、不安や恐怖心などが膨らんでいき、できない理由を考え始めることが多いと思います。もちろん考えて、慎重になることは必要ですが、すこしハードルをさげて、できるかできないかの2択ではなく、やるかやらないかで物事を図ってみてもいいのではないかと考えております。初めからできる人なんてほとんどいません。失敗してできるようになります。学生のころ、試験勉強で解けなかった問題が解けたときのように、すごく単純なことですが、できないことができるようになると気持ちがいいものです。仕事でもひとつずつ、できないことをできるように日々精進してまいりたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月6日(木)  
**担当者** 農業委員会事務局 門間 亮太

おはようございます。農業委員会事務局の門間です。

現在、担当している業務の中から、農地の利用調整に関する業務についてお話しさせていただきます。

農地の利用調整とは、経営の規模を拡大したい、あるいは経営規模縮小のために売りたい、貸したいといった方々の意向に沿った形で、農地や、買い手、借り手を探し、農地を適切に効率よく利用してもらえるように、権利関係を調整することをいいます。

現在の農業経営のあり方として農地は所有するものではなく、賃貸借契約により、「借りて使う」が主流です。

現に北広島市内だけで、農地の賃貸借契約件数は常に500件ほど結ばれている状態です。その契約は原則として農業委員会で内容を審議し、許可、決定されたものです。

農地の利用調整業務において、難しいと感じることは、不動産である「土地」にかかわるということです。

なぜなら、売る人と買う人、あるいは、貸す人と借りる人の仲介をすることになるからです。

仲介することにより、お互いが納得できる金額や契約内容に、地域ごとの標準価格や過去の実例に基づいて、当事者双方とやり取りしながら、調整していくことが必要となります。

また、経営の規模を拡大したい農業者の方々の新たな農地を探す際には、農業経営を引退しそう、もしくは、すでに引退した方に接触し、売却の意向はあるか、賃貸借なら可能か、など、所有者の意向を確認しながら進めていくことも必要です。

双方の意向が最初から一致していることはほとんどありませんので、当事者とやり取りをしながら、妥協点まですり合わせていくことが、難しく感じるころでもあります。

以上の業務を進めるにあたっては、市内農地の場所の把握や、それぞれの地区の事情を把握しておく必要があるため、各地区の農業委員の方々や各農業関係機関との情報共有は欠かさないように心がけていきます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月7日（金）  
**担当者** 教育総務課 熊谷 友美子

おはようございます。教育総務課の熊谷友美子です。

教育総務課は7名で、主な業務は、教育委員会会議の開催、姉妹都市である東広島市への子ども大使の派遣と受け入れ、教育関係団体への補助金の交付、学校に関する委託業務等の契約、そして、市内全小中学校の状況を考慮した備品の基準を設けたり、基準をもとにした備品の整備もおこなっています。

いくつかの業務を同時進行するなか、各学校からの問い合わせ対応も多く、1日があっという間です。

今日は、私が、仕事とプライベートの間で、ささやかながらおもしろいなと感じたことについてお話しします。

今年、息子の小学校入学により、何度か学校行事に参加したのですが、教育部の職員として関わりが多い学校のはずが、日頃は電話や文書でのやり取りが多いこともあり、加えて、保護者という立場への変化もあり、校内で半日過ごすことがとても新鮮に感じました。

また、業務の中で、学校の高額備品の購入に関わったことがあり、実物の確認や、活用例の報告を受けたことはありましたが、保護者の立場で、実際に活用する側になり、『備品は、こんなふうには有効に活用されてこそ価値がある。』と、改めてこれまでの業務を振りかえる機会となりました。

教育部と学校の関わりに限らず、市役所の業務は、どの部署でも、市内の色々なところに関わりがあり、業務の中で関わったことに、市民の一人としても関わられる機会が多くあります。私は、『日頃の業務と、立場や視点を変えて関わったときに、少し新鮮な気持ちになる事も、振り返るきっかけとなる事も、感覚の変化が、ささやかながらおもしろいなあ!』と感じました。この、感覚の変化も、ひとつ経験として積み重ねて、今後の業務に生かせたらと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月10日（月）  
**担当者** 学校教育課 吉本 早貴

おはようございます。学校教育課の吉本早貴です。

今日は、「生活習慣と健康」についてお話ししたいと思います。

みなさんはスマホのスクリーンタイムという機能をご存知でしょうか。これは、スマホを日々どの程度使用しているかを知るための機能です。先日確認したところ、私は1日平均3時間半、土日は5時間も使用していることが分かり驚愕しました。たしかに、睡眠時間を削って携帯を見るのが習慣になっており、朝目覚めが悪い日が続いていました。日々の生活習慣が、健康に影響を及ぼすことを実感したところです。

さて、私は、現在、学校保健の業務を担当しています。

冬はインフルエンザなどの感染症が流行し、本市でも学級閉鎖をした学校が何校もありました。毎年流行するインフルエンザですが、かかる人もいれば、一方で全くかからない人もいます。その違いは、免疫力があるかどうかが大きく影響しているようです。

そして、免疫力を高めるために重要なことは、睡眠、休養、適度な運動、栄養のとれた食事など、日々の基本的な生活習慣です。

現在、子どもたちの生活習慣の乱れが問題視されていますが、子どもたちの生活習慣は家庭や地域の影響を受けると言われています。

子どもたちの健康を守るためにも、私たち自身の生活習慣を見直すことが大切だと思います。

私も、小さなことから、自分自身の生活習慣を改めていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月12日（水）

**担当者** 学校教育課 菅 勇介

おはようございます。学校教育課の菅です。

本日は僭越ながら、私が普段から大事にしていることを、三国志のあるエピソードに寄せてお話しします。

蜀という国に、諸葛亮孔明という稀代の軍師がいました。彼は、最大の敵国である魏に攻め入る前に、周辺の南蛮諸国を制圧する必要があると考えました。そして、無用な殺生をせずに、南蛮諸国の長である孟獲を7度捕らえては許し、孟獲を心服させることに成功しました。

その後、諸葛亮一団が蜀に戻る道中、大雨で川が増水し、立ち往生してしまいました。見送りのために同行していた孟獲は、「これは川の神の怒りによるものです。49人の生首を神に捧げ、怒りを収める必要があります」と言いました。それは神の怒りではなく、天候によるものと知っていた諸葛亮は、その慣習に驚きました。諸葛亮は料理人に、生首の代わりとして牛肉を丸く切り、小麦粉をまぶして生首のように仕立てた饅頭（まんとう）というものを49個用意し、川に捧げるよう指示しました。その数日後、川は収まり、諸葛亮は無事に川を渡ることができました。そして、孟獲は人命を奪わずに、川の神の怒りを収めるための新たな方法を知ることとなりました。

至らない点が多い私ですが、これからもこの諸葛亮のように、これまで当たり前のように行われてきたことを新たな観点から見直すことや、新しい発想を持つこと、そして第一に市民目線を大切にしたいと思います。

ちなみに饅頭（まんとう）は、皆さんがよくご存じである和菓子の饅頭と漢字表記が一緒で、和菓子の饅頭はこの饅頭（まんとう）が由来であると言われています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月13日(木)

**担当者** 小中一貫・教育施策推進課 佐藤 勇輝

おはようございます。小中一貫・教育施策推進課の佐藤勇輝です。

私事ですが、2月6日から10日までロシアに行ったお話をさせていただきます。なぜ今、世界的に新型コロナウイルスが大流行している中でロシアに行ったかという、モスクワ州プシュキノ市で開催されたロシアの武道大会「第10回日本の聖ニコライ杯」に参加させていただいたからです。

2020年から21年にかけて実施する「日ロ地域交流年」の事業の一環で、今回は、北海道が交流を進めるモスクワ州から招待があり、10回目となる本大会に、相撲と空手で計31名の北海道選手が、日本の選手団として初めて参加しました。

私が出場した相撲の試合結果は、体重別の世界チャンピオン3名を擁するロシアのナショナルチームのパワーに圧倒され、ボコボコにされてきましたが、世界選手権に出場するような選手たちと対戦でき、とても勉強になりました。交流事業では、大会のほかにも文化・交流プログラムとして現地のパラ選手とのカーリング体験や、世界文化遺産の至聖三者聖セルギイ大修道院、赤の広場の視察、地元の学生との交流もあり、大変貴重な経験をさせていただきました。

今後はさらに国際化が進み、市内でも海外の方と接する機会が多くなるかと思えます。言葉はなかなか通じない部分もありますが、なんとかなる部分もあります。今回の経験を活かし、これからは海外の方とも積極的にコミュニケーションを取っていきたいと思います。

最後になりますが、今回の交流事業の参加にあたり、何日も休みをいただきご迷惑をお掛けする中、快く送り出していただいた職場の皆様へ感謝いたします。ありがとうございました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。



**放送日** 令和2年2月14日(金)  
**担当者** 社会教育課 遠藤 理加子

おはようございます。社会教育課の遠藤です。

今日の私のスピーチでは笑顔の効果についてお話しします。皆さんは1日に何回笑っていますか？数えたことはないかもしれませんが統計があります。5歳児は、1日「300回～400回」大人は「15回」なんだそうです。この回数を見ると大人は子供に比べ笑うことが全然少ないことがわかります。1日の中で1度も笑わない人もいるのではないのでしょうか？人間は年を重ねるにつれ 笑う回数が減るらしいです。自分は、1日に15回も笑っているのかな？と考えるとそんなに笑っていないと感じています。皆さんはどうでしょうか？なぜ子供は笑う回数が多いのか？簡単に言うと子供は純粋で素直だからですよね。おもしろかったり楽しかったりしたら無条件で笑います。でも大人は、子供の頃の純粋で素直だったところが年々薄れてくるのでしょうか。物事を素直に捉え、楽しんで笑うという行為が難しくなっているのだと思います。とりあえず、毎日どこかで起きる「笑いの種」を見つけたら素直に笑ってみましょう。と言っても大きな声を出して笑うのは周りの人に迷惑になるので注意しましょう。人間には笑うと自然治癒力を高める「ナチュラルキラー細胞」という細胞の働きが活発になるそうです。その他にも免疫力アップ、脳の活性化、ストレス解消いいことづくめです。また「笑う門には福来る」ということわざがあります。「いつもにこやかに笑っている人の家には、自然に幸福がやって来る」という意味です。

笑顔は人間だけにできる特権です。

皆さんも気難しい顔をせずに爽やかな笑顔で周囲の人を明るくしましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月17日(月)  
**担当者** 社会教育課 坂下 大仁

おはようございます。社会教育課の坂下です。

本日は、「手段」と「目的」についてお話しをします。

具体的に言えば、手段が目的化してしまうことについてです。

どういうことかという、わかりやすいのが「ダイエット」です。ダイエットは「手段」であって「目的」ではないと思います。あくまでも、健康維持のためなどが目的であって、ダイエットすることや、痩せることというのは手段でしかありません。スポーツの場合、試合に勝つための目的。そのために体力をつけるのが手段だとします。それがいつしか、練習で走り込みをするのが目的になってしまい。練習をしたくなる。このように悪循環になっていきます。結局、何の為にそれを行っているのか、その大きな所を見落としてはいつまでたってもゴールにはたどり着けません。どうしても、「なぜやるか」というところより「どうやるか」あるいは「どうこなすか」に重点を置いてしまいがちです。これは、物事の根本的な解決にならない可能性があると思っています。

目的とは、最終的に目指す到達地点のことを指していると考えます。常になにが最終到達地点なのか。それを考えて行動することにより、様々な手段が発見され、様々な可能性が出てくると考えております。

この目的と手段への意識は、自分自身が普段から気を付けていることでもあります。業務を終わらせることや事業を成功させることだけが目的ではなく、よりよいまちづくりのために様々な業務や事業を手段として進めていきたいと考えております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月18日（火）

**担当者** 文化課 加藤 秀敬

おはようございます。教育部文化課の加藤です。

文化課は、丸毛課長を筆頭に、ホール担当と図書館担当に分かれ仕事をしています。

丸毛課長は私が2年前に異動したときから「チーム文化課」と課内を鼓舞しチームワークを特に重んじています。チーム…聞き馴染みがある言葉です。ラグビー日本代表がスローガンとした「one team」、先駆けたのは丸毛課長ということをお知りおきください。

さて、芸術文化ホールといえばコンサートなどのイベントを行っているイメージが強いと思いますが、鑑賞機会を通じての振興施策のほかに、青少年の芸術文化に係る大会出場に対する費用への助成や各種団体への助成など広く振興施策を展開しているところです。

特に青少年に対しての思い入れは強く、私の主となるモチベーションでもあります。

活躍の場を求めるにあっては北海道を出て、東京や海外に出て研鑽を図る狭き道を歩んでいくことが多いと聞いております。

近所のご家族のお子様で、幼き頃からピアノ始め、数々の大会で優秀な成績を収め、世界大会にも出場する小学生の女の子は、とてもストイックで、毎日決まって朝7時にピアノの練習を始め、学校から帰ってきても練習、夜の9時頃に練習をする日もあります。

イチローのような彼女が、進みゆく道を諦める時を勝手に想像してしまう時もあります。

自分の意思であれば良いのですが、経済事情など自分の意に反して諦めなければいけない時ほど辛いことはなく、芸術文化振興施策として支援を出来ることはないかと常に考えます。

また、その振興にあってはホールというハードの維持管理も欠かせません。20年経過した稼働率が高く特殊設備を有するホールの維持管理とソフト施策、某課の先輩職員から頂いた「思考停止するな。」を心に刻み、最小の経費で、最大の効果を挙げることが常に心がけて参ります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和2年2月19日(水)

担当者 エコミュージアムセンター 古田 くるみ

おはようございます。エコミュージアムセンターの古田です。私は昨年度の4月から、エコミュージアムセンターで任期付学芸員として勤務しています。今日は、当館で開催中の企画展の話をさせていただきたいと思います。

現在、エコミュージアムセンターでは秋の企画展として、「きたひろ学校展～うつりゆく学び舎～」という、学校をテーマとした展示を行っています。日本における学校制度のはじまりや、市内8校の現在までの歩みなどを紹介しているほか、ガリ版やだるま式ストーブといった一部の方には懐かしい道具も展示しています。とくに好評なのは、100年前、高台尋常小学校という学校で実際に使われていた木製の机です。実際に座っていただくこともできるのですが、この机、今とは違って長い二人掛けのもので、かつ、天板が開いて中に授業道具を入れられるようになっているという特徴があります。時代の変化とともに、今ではまったく見なくなってしまったものです。

しかし、見学された方々の中にはこのタイプの机を使っていたという方もおり、とくに印象的だったお話が、好きな女の子の机の天板を開けて、中にヘビやカエルをしのばせるいたずらなんかもしたんだよ、というちょっと刺激的なもので、そうした昔の思い出話を楽しそうに、かつ懐かしそうに話してくださった姿を覚えています。こうした貴重なお話を聞けたとき、この仕事の楽しさや喜びをしみじみとかみ締めます。

ほかにも、閉校した団地地区の四校についての紹介などもあり、とくにご自身やお子様が市内の小学校に通った経験がある方はより楽しめる展示になっているのではないかと思いますので、ぜひ、皆様も2月23日の終了までに足を運んでいただけたらと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月20日(木)  
**担当者** 学校給食センター 田中 利樹

おはようございます。学校給食センターの田中です。

人生100年時代。皆さん1度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。ある海外の研究では、2007年に日本で生まれた子供の半数が107歳より長く生きると推測されています。

しかしながら、寿命が100歳を超えるからと言って、健康寿命がそれとイコールであるとは、考え難いです。

健康であることは、仕事をする上でも、豊かな人生を送るためにも前提条件であり、健康と食事は密接な関係にあります。

栄養の偏りは、健康被害を引き起こし、肥満、集中力、免疫力の低下の原因になります。

栄養についてですが、年齢、性別などによって摂取すべき栄養素は変わってきますが、最近の日本人に不足しがちだと言われている栄養素は、カルシウム、鉄分、食物繊維です。

カルシウムは、イライラを抑え、肩こりや腰痛なども和らげる効果があります。主に豆腐、乳製品、青菜などが代表的です。

鉄分は貧血やめまい、動悸を防ぎます。レバー、ひじき、納豆などが代表的です。

食物繊維は腸内環境改善、大腸がんや高血圧、動脈硬化を防ぎます。根菜類、豆類、いも類が代表的です。個人的にはキャベツがお勧めです。

食事を取ることは、食欲を満たすだけでなく、家族団らんの時間になったり、ストレスが発散出来たり、様々な効果があります。健康であることは、日々の生活を豊かにしてくれます。食生活が偏っていると思われる方は、今一度見直してみてもいいのではないでしょうか。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。バランスの良い食事は皆さんに健康をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月21日（金）  
**担当者** 消防本部総務課 佐藤 リセ

おはようございます。消防本部総務課の佐藤 リセです。憧れの消防職員になってからもうすぐ1年がたとうとしています。

私は、北広島市初の女性消防職員として採用されました。5ヶ月間の消防学校生活を終え、実務に取り掛かってから約半年ですが、未だわからないことだらけです。しかし、毎日の中で出来ることや、知識が増えていくことが大変うれしく、充実した日々を過ごしています。

今年度は総務課というところで、主に事務仕事に従事しています。総務課は、消防の核となる部署で、1年目の職員が入るようなことは、まずありません。難しいこともたくさんありますが、なかなか経験できないような仕事が多く、成長できる場所だと感じています。

さらに私は、週に1・2回程度隔日勤務の先輩職員と同じように泊まりでの勤務も行っています。訓練をしていく中で、体力・筋力の面で悔しい思いをすることももちろんあり、心が折れそうになることもあります。その悔しさをバネに、これからも努力し続けていき、「女性だから」と思われることがないような、女性消防士になりたいです。そして、女性1号として入ったからには、女性にしかできない、今までの消防の先輩たちが気付けなかったようなことにも気付いていける、そんな職員を目指してこれからも精進していきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月25日(火)  
**担当者** 消防本部予防課 小玉 浩司

おはようございます。消防本部予防課の小玉浩司です。

私は、現在、違反処理と言う消防法令に違反している事業者に対して、警告や命令を行う業務を担当しています。また、趣味として、社会福祉協議会の依頼による施設での演奏活動を約10年続けています。仕事と趣味を通して、たくさんの市民の方と出会います。地元を盛り上げようと頑張っている事業者の方や地道にボランティア活動を長年続けている方などに会い、地域というのはこのような方々の努力により成り立っているということを感じさせていただいております。そういった中、北広島団地地区のイメージソングを作るプロジェクトに参加させていただき、親子連れやご高齢のご夫婦がトリムコースを優しい気持ちで散歩する風景をイメージしながら、総合計画課の熊谷主査と共に「さんぼまちの唄」を作りました。北広島市の公式 Youtube チャンネルでの視聴回数は、もう少しで3,000回になりますが、皆様にさんぼまちの素晴らしさが少しでも伝わっていればと思っています。これから発展する北広島市ですが、たくさんの方が訪れ商業施設などで楽しまれることと思います。その一方、安心して生活できる街でなければなりません。法律が改正され、一般住宅も店舗として使用し易い環境になり、住宅地でも店舗や民泊などが増えてくる可能性があります。また、飲食店などでも客足が増えるにつれて忙しくなり、事業者の防火に対する意識が低下する可能性もあります。私は仕事や趣味を通じて出会った方、そして、さんぼまちの唄を聴いて北広島に移り住んだ方をはじめとして、市民が安心して暮らせるよう、皆様の防火意識を高めて行かなければならないと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月26日（火）  
**担当者** 消防本部警防課 川原 健作

おはようございます。警防課指令担当の川原です。

皆さんは市民からの電話に、どのような事に気を付け対応されているでしょうか？

私の主な業務は消防への緊急通報である119番通報の受付業務です。そのほとんどが緊迫した状況での通報で、一つとして同じ通報はありません。

この緊急通報を受報する際、私は第一声をいつもよりワントーン高い声でゆっくりはっきりと発するよう心がけています。それは、慌てた通報者を少しでも落ち着かせ、「大丈夫ですよ」という気持ちを込めて意識しているものです。緊急通報に限らず私たちが業務を進める上で電話対応は必要不可欠です。何気なく対応しがちな電話ですが、第一声によって相手に与える印象は大きく、その後の会話にも影響すると感じています。相手の顔を見ることができない電話対応は、声のトーンや話すスピード、言葉遣い等が重要であると思います。今後も気持ちの良い対応に心がけていきたいと思っています。

また、メッセージアプリ等の活用により便利な世の中になってはいますが、やはり自分の思いを言葉として相手に伝えなければいけない場面が業務の中には存在します。そして、その「伝える」ということの難しさも日々感じています。コミュニケーション能力を向上させるためにも職員間での会話を重要視し積極的に行っていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。



**放送日** 令和2年2月27日（木）  
**担当者** 消防署消防1課 前田 啓佑

おはようございます。消防署消防1課救助担当の前田啓佑です。今日は私が普段仕事をする上で心がけている元気な挨拶と整理整頓についてお話ししたいと思います。

心がけている目的としては、元気よく挨拶することで「人間関係を良好」に、整理整頓を行うことによって小さな事に「気を配る」・「気づく」きっかけとし、日常業務や災害現場に活かすことです。

2年前、他市の消防との合同研究会で業務に関することを発表する機会があり、その際、私が発表したテーマが整理整頓についてでしたので、そちらを紹介します。研究会に向けて準備をしている過程で、先輩から「割れ窓理論」というものを教えていただきました。この理論について詳しくお話しする時間がないので、理論に基づき成果をあげた事例について2つ紹介したいと思います。1つはディズニーランド・ディズニーシーでの事例です。パーク内の些細な傷や破損を疎かにせず、ペンキの塗り直しや破損箇所の修繕を頻繁に行うことで従業員のパーク内の「気配り」が良くなるだけでなく、客のマナーも良くなったそうです。2つ目はApple社での事例です。業績不振に陥っていたApple社に復帰したスティーブ・ジョブスは「社員それぞれがやりたいことをやる」といった社風を一新し、挨拶をする、遅刻をしない、期限を守る、小さな嘘をつかせないことなどを徹底して守らせ、働く環境を変えたことで経営を改善させたそうです。

私はこうした事例からも、ちょっとした気配りや挨拶などの当たり前のことが大きな成果に繋がるのではないかと考えます。挨拶や整理整頓という小さな当たり前のことが、周囲への「気遣い」や「気づく」きっかけとなり、普段の事務作業の効率化や人間関係を良好にすることに繋がり、結果的に現場活動において、2次災害の防止や現場活動時間の短縮に繋がるのではないかという結論に至りました。

そのため、私はこれからも元気な挨拶や整理整頓を心がけていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

**放送日** 令和2年2月28日（金）  
**担当者** 消防署消防2課 濱野 陸

おはようございます。消防2課の濱野 陸です。

北広島市の消防職員として採用されてからまもなく一年となり、時の流れの速さを感じております。また、間もなく新採用の職員も入ってくるのでより一層気を引き締め仕事に励みたいと思います。

さて、私は昨年4月から北海道消防学校に半年間入校し、消防人としての基礎を学びに行きました。厳しい教官に怒られながらもカリキュラムをこなしつつ、仲間と支え合い無事卒業することができました。

私が消防学校で特に大事だと感じたことが自分の行動に責任を持つ事です。消防学校では訓練や生活の中で失敗やだらしのない行動をしていると自分だけでなく同じ訓練班や部屋班の方にも連帯責任として罰則が与えられます。これにはちゃんとした理由があり、火災現場で自分一人が無責任に活動を行うと他の隊員を最悪死なせてしまう可能性があります。なので自分の行動に責任を持たせる為に行っています。消防の現場は一人では動けないので他の職員とコミュニケーションを図り円滑な現場活動ができれば良いと感じます。

消防学校を卒業し職場に帰ってきてからも覚えることが沢山あり、消防学校では習わない北広島独自のやり方や様々な場面に対応する為の訓練を行っています。私自身要領が悪く叱られる事ばかりですが、良き先輩たちに支えられ少しずつですが成長できていると思います。一早く一人前の消防士になれるよう努力を惜しまず頑張ります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張らしましょう。